

今号の主な記事

- ◇財政事情を公表 .....2面
- ◇協働事業提案を募集  
～ウェーブ開館10周年記念 .....3面
- ◇幼稚園地域ふれあい事業 .....4面
- ◇国民健康保険特集 .....6・7面

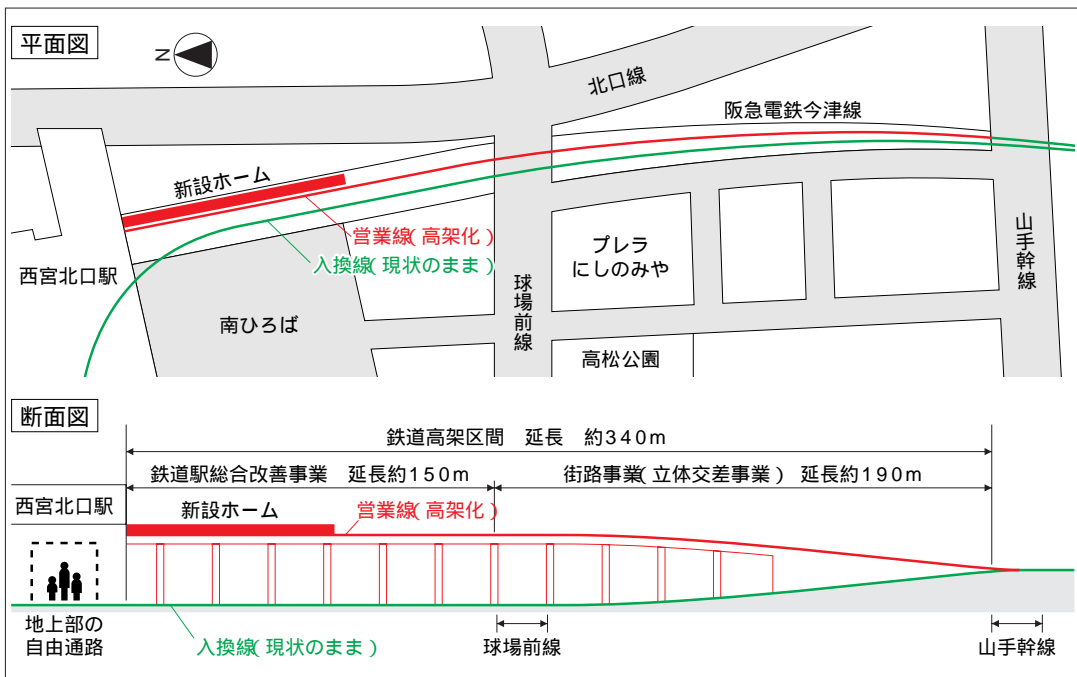


高架化により交通の安全性や利便性を改善し、地域の皆さんが快適で住みやすいまちづくりを進めています。右上図が阪急今津線（南線）高架化事業の完成イメージです。完成時ではイメージ図と一部異なる場合があります

阪急今津線（南線）高架化  
年内に列車運行を切り替え予定

西宮北口駅南地区

道路交通、駅利用がスムーズに



事業の概要

平成19年度から国の補助を受けて、県と市、阪急電鉄の3者で阪急今津線（南線）の高架化事業を行っています。

この事業は、西宮北口駅南地区におけるまちづくりの一環として、今津線（南線）と球場前線（県道西宮豊中線）との立体交差を図るものです。事業の区間は西宮北口駅から山手幹線道路までの約340mです。

阪急西宮北口駅南地区では平成17年10月に「県立芸術文化センター」がオープン、20年11月に「阪急西宮ガーデンズ」が開業しました。さらに21年4月には「甲南大学西宮キャンパス」が開校するなど、にぎわいを見せています。県と市、阪急電鉄は都市機能のさらなる健全な発展に向けて交通の円滑化と利便性の向上などを図るために、阪急今津線（南線）の高架化事業に取り組んでいます。年内に高架上の列車運行に切り替える予定です。今回、今津線（南線）の高架化事業を紹介いたします。問合せは市街地整備課（0798・35・3663）へ。

都市交通機能の向上

高架化事業によって、球場前線を通る交通の円滑性を図ることができる。同時に、列車運行の安全性が向上します。また、今津線（南線）により分断されていた東西地区の移動がしやすくなり、駅・バスターミナル利用者などの利便性の向上が期待されます。

工事の進捗よく状況

現在、高架のコンクリート工事が終わり、球場前線上に鉄道橋がかかりました。年内に列車運行を高架上の運転に切り替える予定です。今津線西宮北口駅の現在利用しているホームの撤去や高架化事業と一体的に進めている球場前線の整備など、事業全体としては来年3月末の完成を目指しています。

なお、回送車両が車庫から出入りするために通過する線路（入換線）と踏切は、事業完了後も残ります。しかし、高架により踏切の遮断による交通渋滞は大幅に緩和され、踏切事故の危険性が減少するなど都市交通機能が大幅に改善されます。今後も安全面に十分配慮し、駅舎建築、ホーム整備、軌道・電気設備などの工事を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。